

「公務研修・人材育成に関する研究会」報告書のポイント

新しい時代の職業公務員の育成 － 政治主導を支える「全体の奉仕者」像 －

基本認識

○行政の役割増大 ○行政の失敗、不作為等による不信感の高まり

↓
幹部を含めた公務員の質を高めることが喫緊の課題

現行の育成

○高い質の人材を育成するには、「タテ糸」・「ヨコ糸」の織り込まれた育成が必要

↓
◆タテ糸 = OJT中心の各行政分野の専門教育

◆ヨコ糸 = 分野を超えた、国民全体の奉仕者としての共通の教育

↓
これまではヨコ糸教育が不足

提言：必要な育成の在り方

- 公務員として共通の教育であるヨコ糸教育を強化・充実
 - ・ 研修を各職員の育成計画に体系的に組み込む
 - ・ できるだけ受講の義務付けを目指す

必要とされる意識・能力

【職業公務員の役割】 ① 公正に公務を遂行し、効率的に公共サービスを提供

- ◆ 環境変化に応じた公共サービスの提供、不要分野からの撤退の進言
- ◆ 将来も見据え全体の利益を考えた調整、専門家として責任ある判断

↓
【意識・能力】 市場原理に代わる行動基軸となる「全体の奉仕者たる意識」、税金を預かる者としての倫理観、専門家としての能力・責任感

